

高齢者の方の心と体を思いやる「食事サービスグループ」



グループあい



グループひまわり

## 笑顔いきいき輝いて



子育てに寄り添う「赤ちゃん木育サポーター」

今年も「あけましておめでとうございませぬ」の一言ですが、へびの抜け殻を財布に入れておくとお金がたまるといわれへびが財布を蓄え守るといふ伝説も多くあります。今年が区民の皆さまにとって実り多い、良いことが長く続く年になることを願っております。



新宿区長  
中山弘子

あけまして  
おめでとうございませぬ

新宿区では今年3月、大正期の洋画家・中村彝（つね）のアトリエ記念館を開設します。また、新宿クリエイティブ・フェスタの開催や漱石山房復元の着実な推進を図るなど、積極的に文化創造の取組みを行っています。これは、我がまちへの愛着と誇りを育むまちづくりであると同時に、文化が新宿のまちの持続的な成長を支える成長エンジンの一つであると考えているからです。

4月には、新宿NPO協働推進センターを開設します。成熟した社会は、ひとり行政のみではなく、NPOやボランティアなど多くの皆さまの協働により支えられるものです。新宿NPO協働推進センターを協働の広場として、NPOやボランティアの皆さまに、区民の暮らしを支える役割を区と共に多様に担っていただけることを期待しています。

11月には、障害者の方の福祉作業所を併設した（仮称）新宿リサイクル活動センター等施設を開設します。リサイクル活動センターは、ごみ減量・リサイクル活動を推進し、資源循環型社会を形成していくための区民活動の拠点となるものです。リデュース（ごみの発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）から成る「3R」を、積極的に推進していく役割を担っていきます。

地域に活力や賑わいをもたらす成長のエンジンを持ち、担い手を育てること、そして環境に配慮していくことが、区民生活を支え、次世代を育て、障害者や高齢者の方に優しい、持続可能で希望の持てる成熟した社会をつくることにつながります。

新宿区は、多様性を力とするまち。今年も、誰もがワクワクする新宿区を、皆さまとともに創造する先頭に立ちたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。